

# あかるく かしこく たくましく

令和5年9月15日 No. 24 文責：校長 佐野紳二

## SDGsについて考えてみましょう② SDGs・17の目標

今日の学校通信では、SDGsの17の目標について説明をさせていただきます。いつもの学校通信よりもかなり文字情報が多くなってしまいますが、お付き合いください。また、目標によっては子どもたちに理解することが難しいものもいくつかあるように思います。ぜひ、時間がありましたらお子さんと一緒に読んでいただき、かみ砕いて説明をしていただければと思います。

最初に紹介するのは目標1から目標6まで。人の基本的な生活に関わる目標で、世界の貧困をなくすことをめざした目標です。

### 目標1 貧困をなくそう

貧困とは、「お金がなくていろいろなことに困っている」ということです。世界には、家にお金がなくて学校に行かせてもらえず、毎日働いている子どもが約1億6000万人（世界の子どもの10人に1人）もいます。



### 目標2 飢餓をゼロに

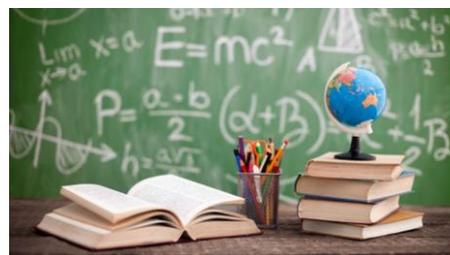
飢餓とは、「食べるものがずっとなくて、栄養不足で死んでしまうほどにくるしい生活をしなければならぬ」ということです。飢餓に苦しんでいる人は世界に約8億1100万人（全世界の人のうちの10人に1人）います。

### 目標3 すべての人に健康と福祉を

健康と福祉とは、「子どもから大人までみんなが心も体も元気に安心して暮らせる」ということです。世界の人口の78億人のうちの半分に当たる約35億人の人は、日本では当たり前の医療が受けられていません。

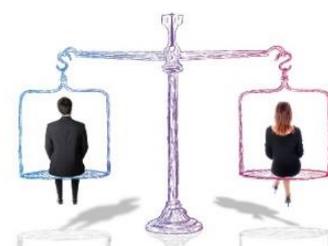
### 目標4 質の高い教育をみんなに

質の高い教育とは、「世界中の子どもたちが男女の区別なく、自分のため、未来のために勉強できる」ということです。世界には学校に行きたくてもいけない子どもが約5900万人、読み書きができない大人が約7億5000万人（そのうち3人に2人は女人）もいます。



### 目標5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等とは、「性別やみんなの個性はちがっていても、おたがいのちがいを受け入れあって笑顔でなかよく暮らせる」ことです。「男子は黒や青、女子は赤やピンク」とか「男子のくせにかわいいものが好きなんて…」「女子なのに〇〇するなんて…」なんていうのが身近にあるジェンダーの不平等、国会議員の多くが男性なんていうのが、日本でまだまだある不平等だと思います。



## 目標6 安全な水とトイレを世界中に

安全な水とは、「飲んだら病気になるほど汚い水、毎日命がけで手に入れる水、そんな水を使わなくていいように、世界中の子どもたちが水で困らないようにする」ことです。世界の約22億人の人たちは安全に飲める水が家にはありません。約1億2200万人の人は、動物のフンなどで汚れていることもある危険な水を飲んで生活しています。

次に紹介するのは目標7から目標11までです。だれもが豊かな生活ができるような「つづく経済」をつくることをめざした目標です。

## 目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

エネルギーは「物を動かしたり使ったりするために必要な力」のこと、クリーンは「地球にも生き物にもやさしい」ということです。世界には、電気をまったく使うことができない人が約7億8900万人います。電気がない場所で暮らす人たちは、料理のときに木や木炭などを家のなかで燃やしています。この時に出る煙は体にとっても悪く、毎年約400万人の人が命を落としています。



## 目標8 はたらきがいも 経済成長も

はたらきがいとは、「働くことに心から喜びや幸せを感じて生きられる」ことです。世界には、自由をうばわれて無理やり働かされている人や、無理やり結婚させられている人が4030万人以上いると言われています。そのうちの4人に1人（1000万人）は18歳未満の子どもです。

## 目標9 産業と技術革新の基盤をつくろう

産業は「生きるために必要なお仕事」、技術革新は「新しい組み合わせが生まれる」こと、基盤は「今も未来もみんなが安心して暮らせるように土台をつくる」ということです。日本では当たり前にある電気・ガス・トイレ・電話・電車・学校・病院のような施設や設備が十分でない国が、世界には数多くあります。

## 目標10 人や国の不平等をなくそう

平等とは、「生まれた国のちがいや性別のちがいが、考え方のちがいが。お互いのちがいを受け入れ合って、みんなで支え合う」ことです。5歳までになくなってしまふ子どもの数は、日本では1万人当たり4人ですが、世界では1万人当たり380人で、アフリカなどの貧しい国に集中しています。



## 目標11 住み続けられるまちづくりを

住み続けられるまちとは、「みんなが今も未来も安心して快適に暮らせるまち」ということです。世界では都市に暮らす人の数がどんどん増えていて、2050年には10人のうち7人が都市に暮らすと言われています。一方で、人が住まなくなったまちや若者がほとんどいないまちもたくさんあります。

一気に全部の目標を説明してしまおうかとも思いましたが、やはり情報量が多くなりすぎるので、今回はここまでにしておきます。残りの目標については次号で紹介します。SDGsの目標の中でも、特に7～11までの目標は私たちが身近に感じにくいものだと思います。まずは目標1～6の内容について理解し、自分たちにできることを考えていけるといいのかな…と思います。

